

市民の会が支所廃止条例撤回を申し入れ

支所・分室の存続を求める市民の会（代表伊藤清隆さん）は12月2日、釧路市に対して「支所条例の12月議会への提出に抗議し、市民の意見を最大限尊重し、条例案の撤回を求める意見



秋里副市長に要望書を手渡す市民の会の伊藤代表

書」を提出しました。1600件近いパブリックコメントが出されながら、市は廃止の方針を変えません。市長は、定例記者会見で、「パブ」

メは賛否を問う場ではない」「効率の良い行政サービスをめざすため廃止は必要」と発言したようですが、圧倒的な市民の声を無視したことに変わりはありません。大義は市民の側にあります。

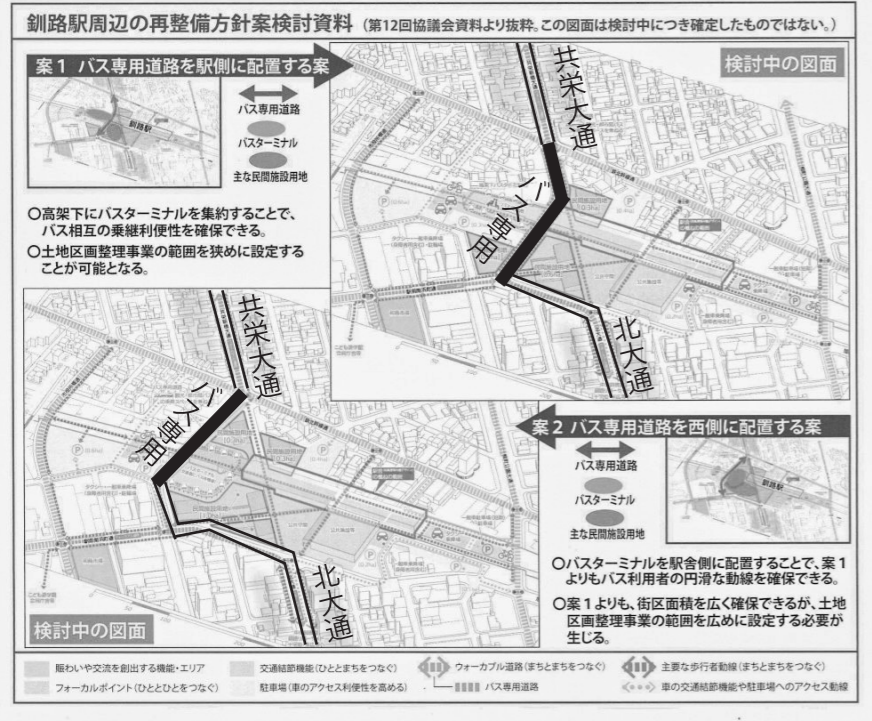
市民の会は、釧路市に対して、廃止条例の撤回とともに、支所の在り方について、市民と時間をとって話し合うことを求めています。

混乱続く 鉄道高架

鉄道高架と駅周辺の再開発 ために駅前地域を歩いて市民に前のめりのえびな市政。しかし、市がまとめた案が市民に大変な不評です。一つが北大通と共栄大通を結ぶ道路がバス専用道路で、形状がL字型で途中で大きく曲がっていること。もうひとつが北大通の車線を減らすことです。いずれも、大渋滞を起しかねません。これらは、国の補助を得る

ために駅前地域を歩いて市民が集うエリア（ウォークアブル都市構想）としたためです。厳しい寒さの釧路には問題の多い考え方です。市は、市民の批判で道路をさらに西側に移す別の案の検討も始めました。この案にすると事業費が大きく膨らみま

す。着地点が見えないまま混乱が深まっています。



支所・分室の存続を
高野君、陸がいざが
支所前いつせい宣伝
支所を守れ

- 12月6日(火)
- 11:00 フクハラ文苑店
 - 12:00 桜ヶ岡支所
 - 12:00 大楽毛支所
 - 13:00 春採支所

このほかにも、会は市民に支所の存続を求めて「ひと言メッセージ」を釧路市にフックスするよう呼びかけ、議会の前日には、廃止予定の支所・分室の近くで、いつせい宣伝行動に取り組みます。



また、同様の内容の要望書をすべての市議会議員にも届け、もし市が廃止条例を採決する場合には、否決するよう求めました。